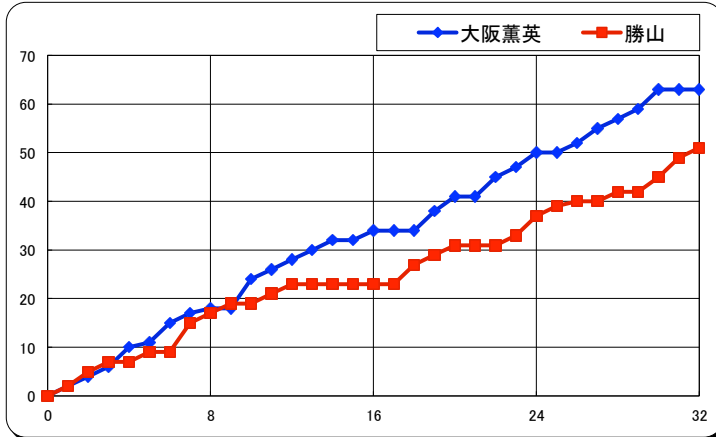




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL
BASKETBALL CHAMPIONSHIP

【得点経過】



大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	善通寺市民体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 14:50																
コート	Aコート	第5試合															
カテゴリー	女	予選リーグK															
主審	佐賀 雄幸 (宮城県)																
副審	加藤 祭 (神奈川県)																
Team A		Team B															
大阪薫英 63	<table border="0"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>6</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	18	1st	17	16	2nd	6	16	3rd	14	13	4th	14		OT		51 勝山
18	1st	17															
16	2nd	6															
16	3rd	14															
13	4th	14															
	OT																
大阪府 ○		愛媛県 ●															

【BOXスコア】

Team A		大阪薫英						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	高島 陽和	×	12	0	5	2	2	
5	今村 弥菜美	DNP	0	0	0	0	0	
6	秋末 ふたば	×	8	1	2	1	2	
7	上野 裕理	DNP	0	0	0	0	0	
8	佐野 暖佳	DNP	0	0	0	0	0	
9	東條 玲奈	/	0	0	0	0	0	
10	大原 美由	DNP	0	0	0	0	0	
11	田中 友萌	×	3	1	0	0	1	
12	中道 朋香	×	7	1	2	0	4	
13	清水 咲来	/	0	0	0	0	0	
14	磯野 若菜	DNP	0	0	0	0	0	
15	福島 梓	×	28	0	12	4	1	
16	桑原 友花	DNP	0	0	0	0	0	
17	永野 真光	DNP	0	0	0	0	0	
18	吉村 朋子	/	5	0	2	1	2	
監督	市川 藤乃						0	
コーチ	川嶋 裕彰						0	
合	計		63	3	23	8	12	

Team B		勝山						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	平野 尚	×	9	0	4	1	3	
5	新谷 莉歩	×	18	0	8	2	3	
6	毛利 麻乃	×	0	0	0	0	2	
7	西山 奈那	×	12	0	5	2	1	
8	松岡 里穂	DNP	0	0	0	0	0	
9	坂本 鈴佳	/	2	0	1	0	0	
10	谷本 里帆	DNP	0	0	0	0	0	
11	中川 悠里	DNP	0	0	0	0	0	
12	森下 遥奈	×	10	1	2	3	2	
13	南 雪希	DNP	0	0	0	0	0	
14	宮川 茉奈美	DNP	0	0	0	0	0	
15	野村 奈央	DNP	0	0	0	0	0	
16	渡部 詩音	DNP	0	0	0	0	0	
17	山口 風花	DNP	0	0	0	0	0	
18	森 美月	/	0	0	0	0	0	
監督	渡辺 哲也						0	
コーチ	和田 美紗						0	
合	計		51	1	20	8	11	

【戦評】

近畿ブロック代表大阪薫英と四国ブロック代表勝山との一戦。両チームともマンツーマンDefでスタート。大阪薫英は#6、#11のパスランプレー、勝山は#5、#7の合わせのプレーが飛び出すなど両チームともレベルの高いOffを繰り返し広げる。大阪薫英は#12、#15のリバウンドが強く、ゴール下シュートなどで得点を重ねていく。一方勝山は、#5のゴール下シュート、#7、#12のカットインシュートで得点を重ねて対抗するが、#5が3回ファールでベンチに下がる。1Q終わって、大阪薫英18対17勝山。2Qに入り、大阪薫英はオールコートゾーンプレスからハーフマンツーマンに移るなど巧みにDefを変えて勝山のミス誘う。勝山の#4も3回ファールをしてベンチに下がり、#7、#12のカットインシュートで応戦するが、大阪薫英34対23勝山で2Q終了。

3Qに入り勝山は、#4、#5をコートに戻し、オールコートのゾーンプレスで反撃を試みるが、大阪薫英はカウンターをうまく使ってボール運び、#6、#12の3Pシュートや#15のゴール下シュートで得点を重ねていく。一方勝山も#4のステップインシュートや#5のジャンプシュートなどで得点し、3Qが終わり50対37で大阪薫英がリード。4Qに入っても勝山はオールコートゾーンプレスで流れを変えようとするが、大阪薫英は慌てずパスをよく回し、63対51で逃げ切った。両チームともDefをよく頑張り攻撃に見ごたえのある試合であった。

【戦評記入者】

山田 道浩